

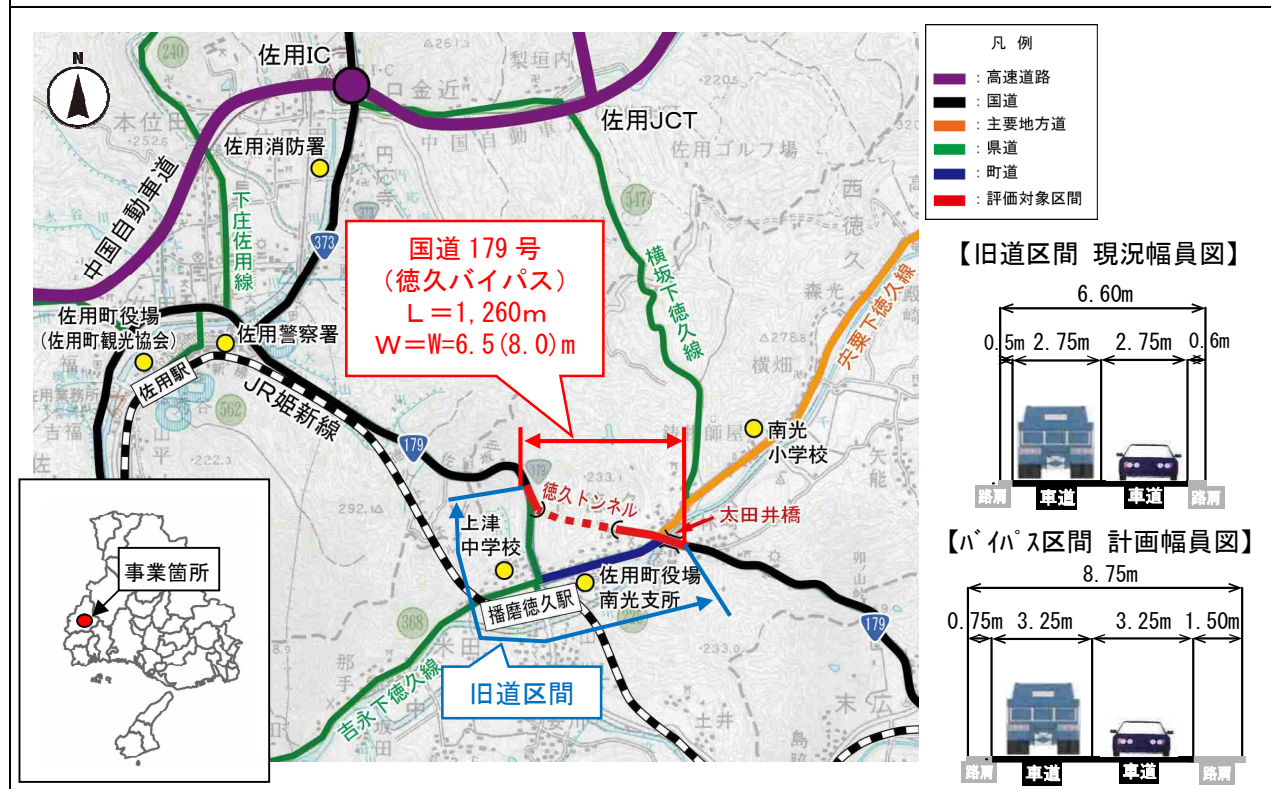
事後評価調書

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 神山 泰 (国道・橋梁班長 橋本 直樹)	内線	4362 (4378)
------	-------------------	---------------------	--------------------------------	----	----------------

事業種別	道路	事業名	一般国道 179 号 徳久バイパス		
事業区間	きょうぐん きょうぐちょう しもとくさ 佐用郡佐用町下徳久				
事業期間	計画	H22～26 年度	事業費 (内用地補償費)	計画	約 23 億円 (6 億円)
	実績	H22～28 年度		実績	約 23 億円 (3 億円)
完了年月	平成 29 年 3 月 (平成 27 年 12 月供用)		過去の評価	H21 年度 新規評価	

事業目的	事業内容
<p>国道179号は、姫路市を起点とし、たつの市、岡山県津山市を経て鳥取県湯梨浜町に至る延長約165kmの幹線道路で、県西部における産業経済活動及び隣接県との交流連携を支えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通混雑の解消、安心安全の確保 ・集落内を走行する通過交通をバイパスに誘導し、集落内の通過交通排除に伴う交通混雑解消や交通事故の削減、沿道環境の改善を図る。 ○緊急輸送道路の強化 ・当該路線は緊急輸送路でありながら、昭和10年に架設された太田井橋の大型車対応ができていないことから、バイパス整備に併せ、耐荷力及び耐震基準を満たした新橋への架け替えを行うことにより、災害時の緊急輸送道路としての機能強化を図る。 	<p>【全体延長】 1,260m</p> <p>【構造規格】 3種2級 (平地部)</p> <p>【計画幅員】 W=6.5(8.0)m (2車線)</p> <p>【計画交通量(R12)】</p> <p>バイパス部 : 6,500台/日 旧道部 : 2,600台/日</p> <p>【現況交通量(R2実測値)】</p> <p>バイパス部 : 6,285台/12h 旧道部 : 2,071台/12h</p> <p>【負担割合】 国5.5/10、県4.5/10</p>

●事業概要図



●事業概要図（事業対象区間写真）

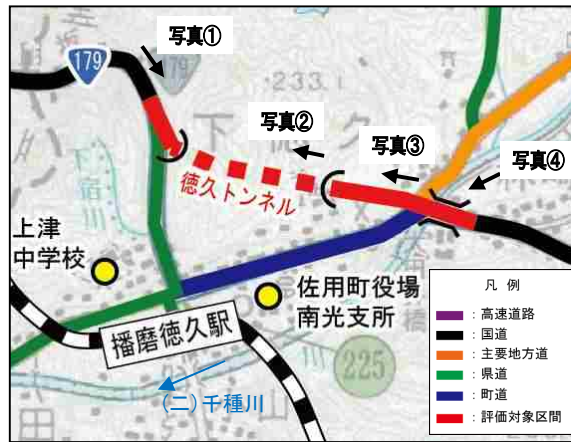
写真① 徳久トンネル西側



写真② 徳久トンネル内部



【 写真撮影箇所位置図 】



写真③ 太田井橋交差点東部



写真④ 太田井橋



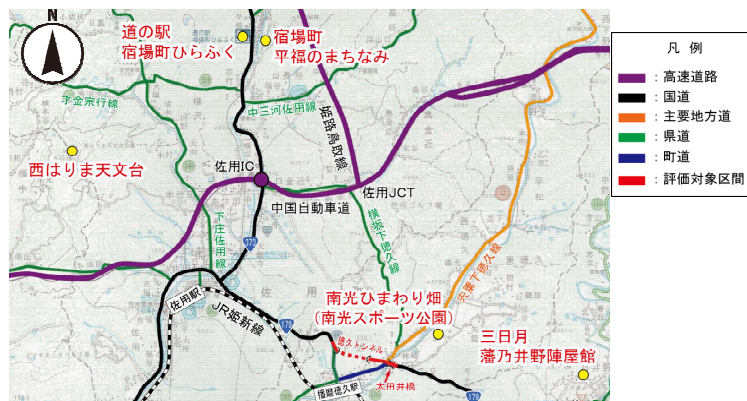
(二) 千種川

●事業を取り巻く社会経済情勢等の変化

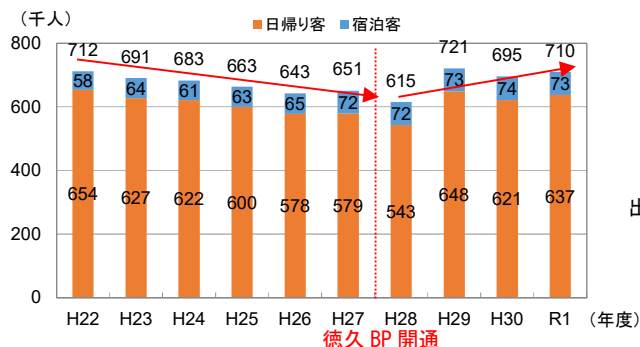
① 主な観光地の立地状況及び観光入込客数の推移

- ・ 佐用町内の主な観光地として、南光地区の「南光ひまわり畑」や平福地区の「宿場町平福のまちなみ」等があり、このうち「南光ひまわり畑」は徳久バイパスの近隣に位置している。
- ・ また、佐用町への観光入込客数は H22 年以降減少傾向であったが、H27 年の徳久バイパス開通以降、観光入込客数は回復している。

【 佐用町内の主な観光地 】



【 佐用町への観光入込客数の推移 】



出典：[H22～H30]
観光客動態調査結果
[R1]佐用町提供資料

●事業の効果の発現状況

想定した整備効果等及び整備後の状況

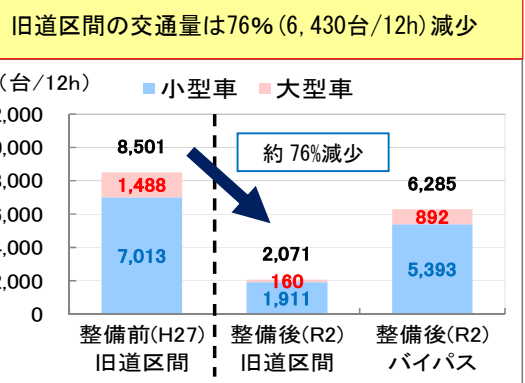
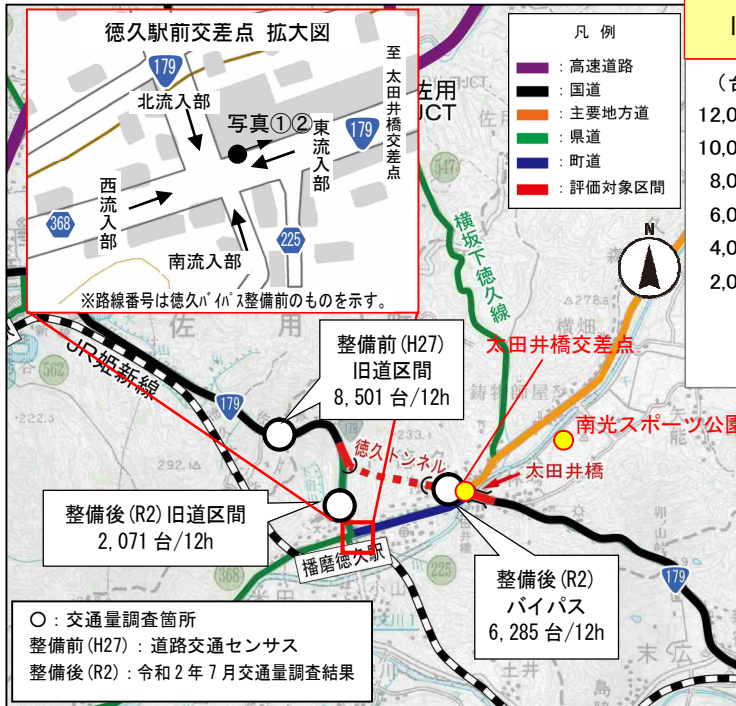
【直接効果】 1. 交通混雑の解消

(1) 交通混雑の解消

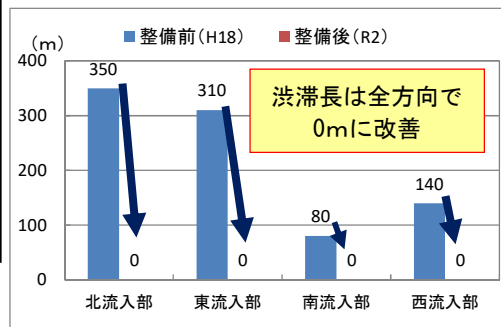
- ・ 徳久バイパスの供用により、旧道区間の交通量は 76%減少している。
- ・ 旧道区間の徳久駅前交差点は渋滞交差点（信号待ちを 3 回以上要する事がある交差点）に指定されていたが、徳久バイパスへの交通転換により同交差点の渋滞も解消されている。

＜ 交通実態調査箇所 ＞

【 12 時間交通量の変化 】



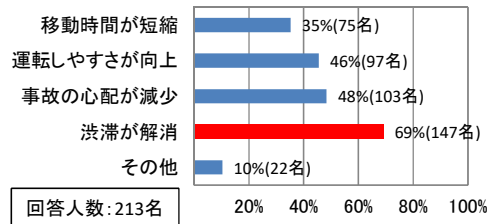
【 徳久駅前交差点 渋滞長の変化 】



住民アンケート調査結果

(令和 2 年 7 月実施)

〔設問内容〕徳久バイパスが整備されてよくなったことはどのようなことか。(複数回答)



＜ 徳久駅前交差点の渋滞状況 ＞



ヒアリング調査結果 (令和 2 年 7 月実施) ●渋滞状況の変化について

佐用町役場 (南光支所)



バイパスができるまでは朝夕の渋滞がひどく、多い時には太田井橋交差点を超えて渋滞していたが、それが解消されて移動しやすくなった。

佐用町観光協会



南光ひまわり祭りの時期には、会場 (南光スポーツ公園) から佐用 I C まで渋滞の列が続くこともあったが、バイパスが整備されスムーズにアクセスできるようになった。

(2) 移動時間の短縮・走行性の向上

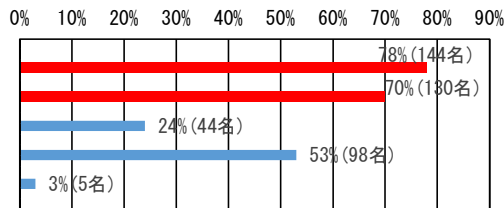
- ・徳久バイパスの整備前は、幅員が狭小である旧道区間を通行する必要があったが、バイパスの整備によって走行性が大きく向上し、大型車同士のすれ違いも円滑に行われている。
- ・また、バイパスが東西方向のショートカットルートとなったことで、通勤や買い物等の目的で町内を移動する際に、移動時間の短縮が図られている。

道路利用者アンケート調査結果

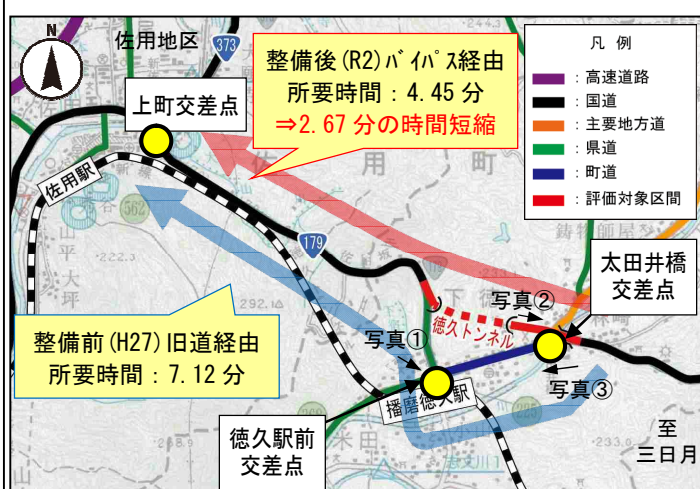
(令和2年7月実施)

[設問内容] 徳久バイパスが整備されてよくなったことはどのようなことか。
(複数回答：回答数 185名)

移動時間が短縮
運転のしやすさが向上
事故の心配が減少
渋滞が解消
その他



< 所要時間の変化 >



整備前 (H27)：道路交通センサス (朝夕混雑時)
整備後 (R2)：令和2年7月旅行速度調査結果 (朝夕ピーク時平均)

【道路利用者の声】

たつの市在住・20代男性



播磨徳久駅前の渋滞や信号待ちがなくなったので、時間を気にすることなく余裕をもって佐用地区の職場に行けるようになった。

佐用町内在住・70代女性



バイパスができて三日月地区と佐用地区の距離が近くなったので、病院や買い物にも早く行けるようになった。

< 走行性の変化 >

【旧道区間 (播磨徳久駅前交差点)】

幅員狭小によりすれ違い困難 写真①



【徳久バイパス (太田井橋交差点)】

広幅員を確保し走行性が向上 写真②



【整備前】見通しの悪い交差点 写真③



ヒアリング調査結果 (令和2年7月実施)

●所要時間・走行性の変化について

佐用警察署



バイパスは旧道よりも信号機の数がないため、所要時間は確実に短縮されている。見通しの悪い交差点を走る必要がなくなり、走行性も改善された。

佐用町役場 (本庁)

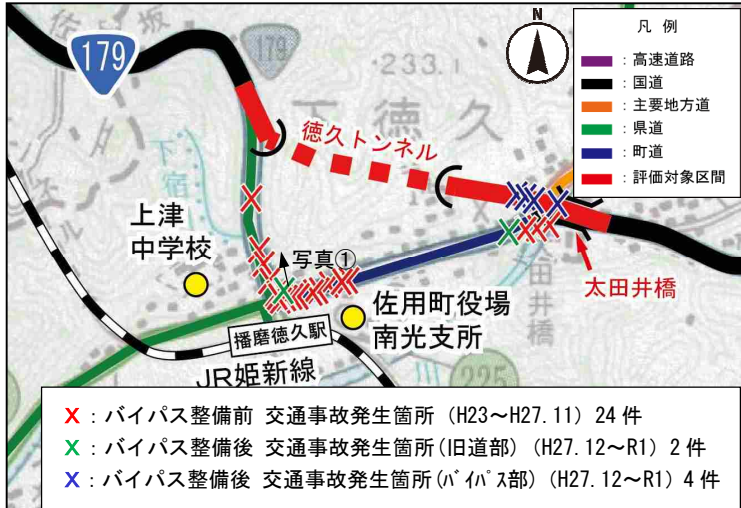


バイパス整備前に比べると、佐用町内の移動が心理的にも近くなったので、買い物等の行動の変化にもつながっていると思う。

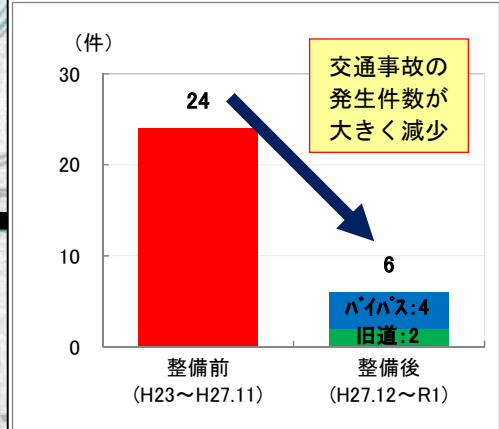
(3) 交通安全性の向上

・旧道区間を迂回していた通過交通が、徳久バイパスを利用するルートに転換したことにより、バイパス周辺における交通事故発生件数は24件（H23～H27.11月の5年間）から6件（H27.12～R1の5年間）に減少している。

< 徳久バイパス周辺の交通事故発生状況 >



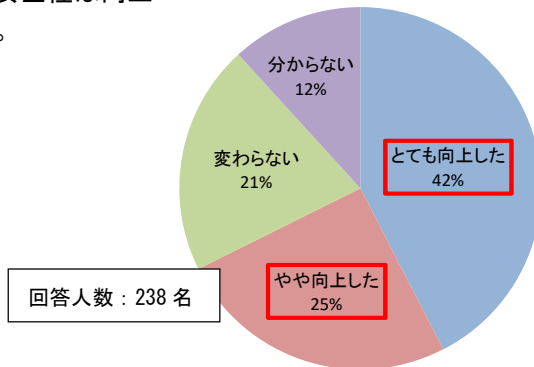
【 交通事故発生件数の変化 】



住民アンケート調査結果（令和2年7月実施）

[設問内容]

徳久バイパスが整備されて安全性は向上したか。



【具体的な声】

佐用町内在住・40代女性



旧道区間は幅が狭いので自動車とのすれ違いが怖く、交通事故の危険もあった。
 バイパスができて旧道の交通量が減り、トラック等の大型車も通らなくなったので、安心して歩けるようになった。

ヒアリング調査結果（令和2年7月実施）

●交通安全性の変化について

上津中学校



旧道区間の交通量が減り、登校時の安全性が向上したと感じている。
 登校時に職員が「立ち番」をする箇所も、以前より少なくなっている。

< 旧道区間における通行状況 >

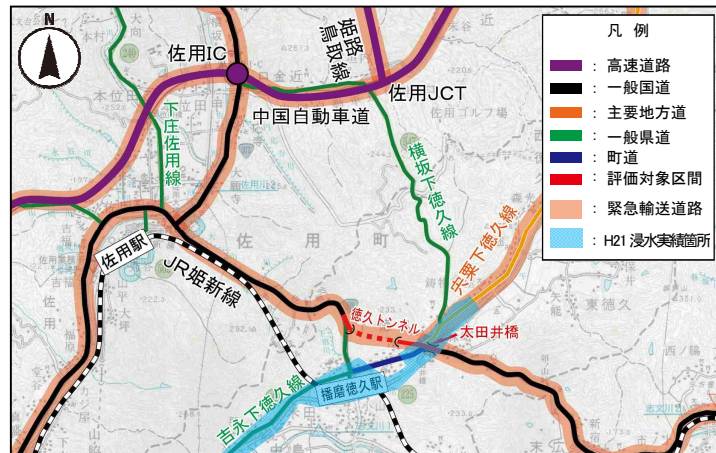


【直接効果】 2. 緊急輸送道路の機能強化

(1) 緊急輸送道路ネットワークの強化

- ・ 国道 179 号は緊急輸送道路ネットワークの構成路線であり、徳久バイパスの整備と合わせて、耐荷力不足（重量制限 20t）であった太田井橋の架け替えも同時に実施したことにより、緊急輸送道路としての走行性や信頼性が大きく向上している。

< 徳久バイパス周辺の緊急輸送道路ネットワーク >



ヒアリング調査結果(令和2年7月実施)

●災害への対応について

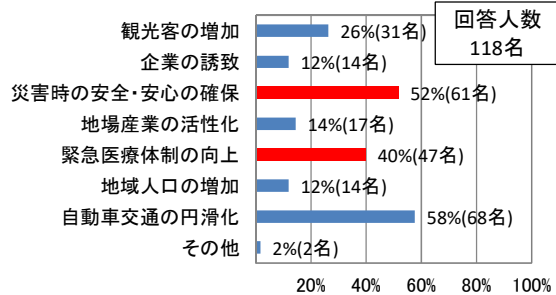
佐用町役場（本庁）



平成 21 年の台風では、太田井橋周辺が冠水し、車の通行にも支障があった。バイパス整備や太田井橋の架け替えによって、災害時の通行止めの心配は解消されたと思う。

住民アンケート調査結果（令和2年7月実施）

[設問内容] 徳久バイパス開通による地域の発展についてどのような影響を期待しているか。（複数回答）



※徳久バイパス開通による地域の発展について「非常に期待する」または「期待する」と回答した方を対象として集計

(2) 地域の救急医療搬送ルート機能向上

- ・ 徳久バイパスの整備によって、二次救急医療機関の「佐用中央病院」「佐用共立病院」や、姫路市方面の三次救急医療機関である「製鉄記念広畑病院」等へのアクセス性が改善され、救急搬送時の所要時間短縮や安全性の確保が図られている。

< 徳久バイパス周辺の救急医療機関 >



ヒアリング調査結果(令和2年7月実施)

●救急搬送時の変化について

西はりま消防組合 佐用消防署

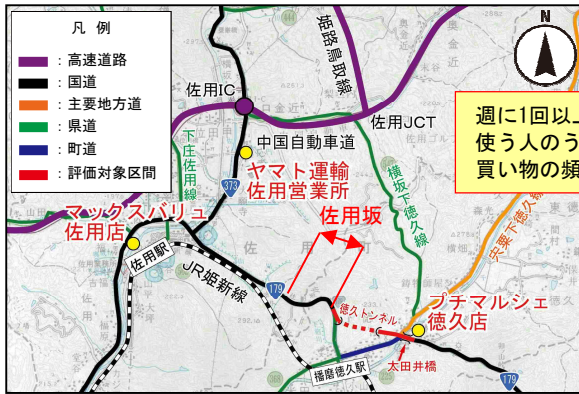


搬送時の所要時間は 2～3 分短縮された。徳久バイパスは幅員が旧道よりも広く走りやすいため、患者や運転手の負担も軽減していると思う。

【間接効果】 1. 物流環境の改善・向上

- ・ 佐用町内の物流拠点等から町内の各地に移動する際のルートとして、徳久バイパスへの転換が図られており、輸送時の交通事故やドライバーの負担の軽減に寄与している。
- ・ また、バイパスの整備によって、佐用坂を挟んだ東西方向の移動が改善されたことにより、町内の商業施設の商圏の拡大にもつながっていると考えられる。

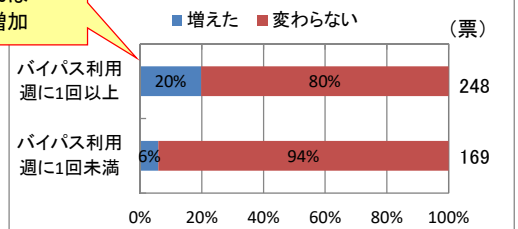
＜ 徳久バイパス周辺の物流拠点及び主な商業施設 ＞



商業施設利用者アンケート調査結果

(令和2年7月実施)

設問内容：徳久バイパス整備後に買い物に出かける頻度は変わったか。



ヒアリング調査結果 (令和2年7月実施)

● 荷物配達時の変化について

大手運送会社ドライバー



旧道区間の交通量が減って配達がスムーズにできるようになったので、一回の配達時間が20～30分程度短縮された。

● 商業施設来店者の変化について

町内スーパー店長



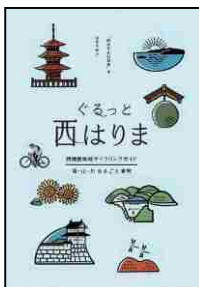
バイパス開通後は、佐用坂を挟んで商圏が東西に分かれていたが、バイパス開通によって商圏が拡大し、お客様の来店も多くなったと思う。

【間接効果】 2. 観光活性化

- ・ 西播磨県民局では、サイクリングモデルコースの認知度向上や観光情報の提供による地域活性化を図るため「西播磨サイクリングガイド」を令和2年4月に作成・配布している。
- ・ 旧道区間は、同マップにおける佐用町の地域ルート「ホルモン焼きうどん三昧コース」に指定されており、徳久バイパスへの自動車交通の転換により、観光目的のサイクリストによる周遊環境の改善にも寄与していると考えられる。

＜ 西播磨地域サイクリングガイド「ぐるっと西はりま」 ＞

【表紙】



【マップ (播磨徳久駅周辺)】



【ホルモン焼きうどん三昧コース紹介ページ】

03 ホルモン焼きうどん三昧

ご当地グルメを満喫！
佐用町民のソウルフード「ホルモン焼きうどん」を味わって頂くグルメコース。しっかり食べて美味しく、おまじないもよし。店舗を巡って味わうもよし。好みに合わせて挑戦してください。観光協会WebにMAPあり。

走行距離20.2km / 獲得標高169m

立ち寄りスポット

START&GOAL 道の駅 播磨町ひらふく

電車 智徳寺行平福駅から徒歩2分
車 / 中国道佐用ICから車で9分

兵庫県立大学 西はりま天文台 公開観望として世界最大級を誇る「なめくろ雲望遠鏡」を拝見できます。施設までのヒルクライムは激坂で、地元サイクリストの練習場所になっています。宿泊でのご利用もおすすめ。
●佐用町西河内407-2
☎0790-82-0598

●事業実施による周辺環境への影響

・通過交通の転換による騒音の軽減及び交通渋滞解消による大気質の改善

徳久バイパスの整備によって通過交通が転換したため、旧道区間沿線の下徳久地区における騒音の軽減につながっていると考えられる。さらに、旧道区間における交通渋滞も解消されたため、同地区におけるCO2排出量の削減や大気質の改善にもつながっていると考えられる。

●特徴的な取組み

・事業の情報発信等

[徳久バイパス開通式の実施]

平成27年12月5日に、徳久バイパスの開通に伴う開通式典を開催した。式典には多くの地域住民や工事関係者等が参加し、テープカットや南光小学校児童による鼓笛演奏での記念パレードが行われた。

< 徳久バイパス開通式典の様子 >



●改善措置の必要性

・特に無し。

●同種事業の計画・調査・事業実施のあり方や事業評価手法の改善の必要性

・事業計画に関する地元住民への継続的な情報提供及び協議・調整の実施

今回の事業実施にあたり、計画段階において自治会、地元住民等からなる「国道179号徳久バイパス建設促進協議会」意見交換を行い、計画を策定した。さらに計画を丁寧に説明し、十分な理解を得た上で事業着手したことで、円滑に事業を進めることができた。